

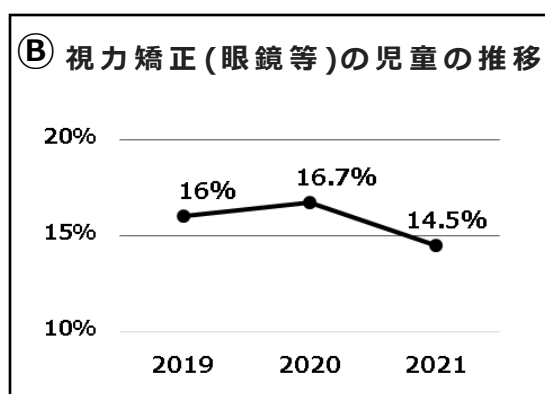
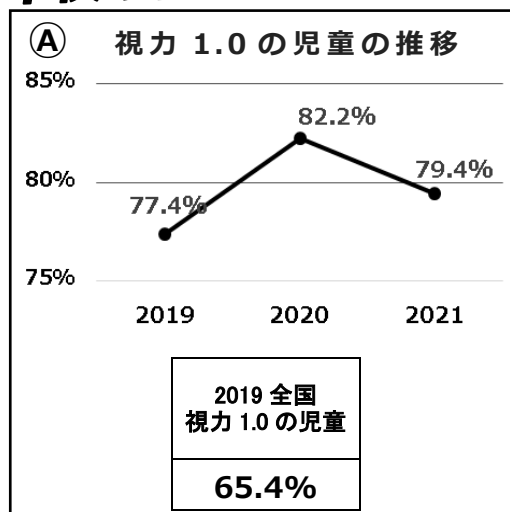
ほけんだよりが

令和3年10月8日
京都市下京雅小学校
校長 上川 依子
養護教諭 中尾 早織

秋らしい気候になり、緊急事態宣言の解除もあって、子どもたちが体を動かして友だちと遊ぶ姿が多く見られるようになりました。

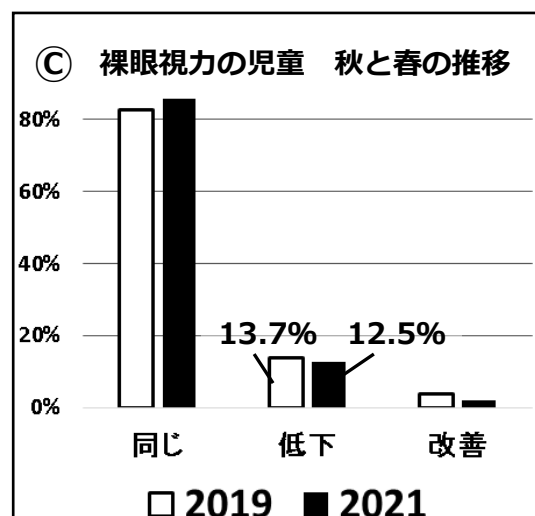
さて本校では、視力検査を春と秋に実施しております。秋の視力検査が終わりましたので、今回は視力についてお伝えします。

本校の視力の様子



新型コロナウイルス感染症の流行前の2019年と比べると、裸眼視力 1.0 の児童の推移は低下しておらず、全国の平均と比べて裸眼視力の児童の割合は高いです。④ また、視力を矯正している児童の推移も、ほぼ横ばいです。⑤ 視力検査は、春と秋の2回実施していますが、その間の裸眼視力の割合は2019年と2021年にほぼ差がありませんでした。⑥

コロナ禍で視力の低下が懸念されていると聞きますが、今のところではありますが、本校において著しく視力の低下は見られない結果となりました。



本校の傾向としては視力低下が著しいわけではないですが、学習でタブレットを用いる機会が多くなり、視力への影響は心配されているところです。

タブレットを文房具のような感覚で扱っている子どもたちに、一方的に制限するばかりでは、なかなかうまくいかないと思われます。使い方を示し、うまく付き合っていけるように学校でも根気強く伝えていきます。



近視のあれこれ

子どもの近視について、府立医科大学の先生より研修を受ける機会がありました。

- ①学童期の子どものが半数が近視を発症
- ②進行すると、病的近視から、失明のリスクがある。
- ③近視抑制のための研究は、まだ発展途上

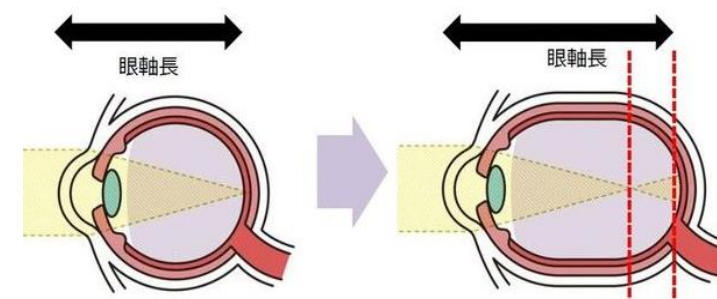


①近視の有病率は世界的に高くなっています。遺伝的素因もありますが、「遺伝×環境」というのが現段階の見解のようです。

②近視が進行すると眼軸が伸び、何年もその状態が続くと、眼球の後部がぼこっと飛び出す「後部ぶどう腫」を生じることがあり、合併症により失明することがあります。

③角膜の形状を矯正するコンタ

クトレンズ（オルソケイトロジー）や、点眼薬により、毛様体を緩めて進行を遅らせる研究なども行われています。



子どもの視力は、時間や場所、心因などで変化することがありますが、学校での視力検査の結果を参考にしながら、早めの医療機関への受診をお勧めいたします。

視力の測定器は保健室にありますので、気になることがあればいつでも測定できますので、おっしゃってください。